

釜石港

岩手県県土整備部港湾課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

☎019-651-3111(代)

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/kouwan/index.html>



1. 概況

〈沿革〉

本港は県南東部に位置し、「鉄と魚の町」釜石市にあり、天然の良港として、明治7年国営製鉄所が建設されたことにより発展した港である。

港湾取扱貨物量は製鉄所の拡大とともに急増し、大正11年には内務省指定港湾となり、更に昭和7年には臨港鉄道と棧橋2基が設置され、1万トン級船舶が入港できるようになり、昭和9年には本県初の開港となった。

その後、製鉄業の伸展と三陸漁場を控えた漁業基地としての水産業の発展と相まって、港勢の伸長には著しいものがあったが、太平洋戦争末期、昭和20年に二度にわたる艦砲射撃を受け、製鉄所はもとより、全市のほとんどが壊滅されるという大惨禍を被った。しかし、戦災復興にかける市民の努力により奇跡的な復興を成し遂げ、昭和25年の国鉄釜石線の開通や原料・製品輸送の海運要請の増大、また三陸沖合の良好な漁場を背景とする本港を利用する漁船の増大などにより、「鉄と魚の町」がよみがえった。

昭和26年9月、本港は重要港湾に指定され、続いて同年10月には第3種漁港に指定された。その後、昭和28年7月には岩手県が港湾管理者となった。昭和34年に長年の悲願であった内陸部と結ぶ道路が開通し、名実ともに海陸の結節点となり、物資の交通が一層促進されることになった。

この間、公共施設は昭和7年、須賀地区に物揚場及び防波堤の建設に着手、昭和13年に完成した。戦後、背後地の鉱産物、金属製品等の海運要請が強まり、昭和37年度から、5千トン岸壁1バースを主体とした公共ふ頭の建設に着手し、昭和46年に完成している。更に、石油流通基地、鉄工団地、下水終末処理場を集約した約9haの都市再開発用地造成を大平地区に計画、昭和47年に完成した。また、新日本製鐵(株)釜石製鐵所(現：日本製鐵(株)釜石製鐵所)は大型船に対応できる棧橋を拡張し機能の増強を図った。

その後、物資流通機能の拡張と恒久的な津波対策を柱とした港湾計画が、昭和52年に決定され、世紀の大事業と言われた最大水深-63mにも及ぶ湾口防波堤工事に着手、平成20年度に完成し、平成22年度には世界最大水深の防波堤としてギネス世界記録の認定を受けている。また、須賀地区公共埠頭の先端部には、18千トン岸壁1バース及び耐震強化岸壁として5千トン岸壁1バースが平成18年度に完成し、港湾機

能が大幅に強化された。

しかし、平成23年3月、東日本大震災津波により、湾口防波堤が倒壊、新日本製鐵(株)をはじめとする民間企業の施設も大きな被害を受け、物流は一時停止した。しかし、湾口防波堤の減災効果により、岸壁自体には大きな被害がなかったことから、民間企業の復旧とともに、港湾活動が再開し、平成25年には震災前の取扱貨物量にまで回復を遂げている。

また、平成23年7月には国際フィーダーコンテナ定期航路が開設され、コンテナの取扱量も順調に伸びている。

平成29年9月には、復興支援の一環として、大阪府から無償譲渡されたガントリークレーンの供用を開始し、同年11月には外貿定期コンテナ航路が開設された。これにより、本港のコンテナ取扱量は飛躍的に増大している。

〈地勢〉

本港は、宮古港と大船渡港のほぼ中間に位置し(北緯39度17分、東経141度54分)、リアス式海岸特有のV字型湾の約4km湾奥にある。

古くから天然の良港といわれてきたように、南北に位置する半島の防波効果により、防護されている。

〈市勢〉

釜石市は、面積441km²、人口約33,000人、就業人口約18,000人で、第1次産業4%、第2次産業34%、第3次産業62%の構成となっている。

昭和30年代の新日鐵の全盛時には、90,000人台の人口を擁し、県都盛岡市に次ぐ人口規模を有していた。

また、市内には世界遺産に登録されている「明治日本の産業革命遺産」の一つである「橋野鉄鉱山」がある。

令和元年に開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会では、東日本大震災津波の被災地で唯一の開催都市となった。

〈特徴〉

釜石港は、平成31年に全線開通した東北横断自動車道釜石秋田線と三陸沿岸道路の結節点にあり、物流拠点となることが期待されている。

また、平成15年には、総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定された。さらに、令和元年には動物検疫の指定港となり、動物検疫の対象となる輸入貨物の取り扱い増加が見込まれている。

完成自動車物流については、平成元年から移入が開始され、その後、内陸部に関東自動車工業(株)(現：トヨタ自動車東日

本(株)の工場が設置されたことから、平成5年からは移出も行われた。東日本大震災津波により、ふ頭にあった営業所が流失したことなどから、現在は休止状態にあるが、その再開が望まれている。

〈計画〉

釜石港では、コンテナターミナルとしての機能強化など更なる利用増大等に対応するため、須賀地区において公共ふ頭の拡充が計画されている。

2. 港勢

入港船舶

| トン数別 種別 | 合計 | | 30,000総トン以上 | | 10,000総トン以上 30,000総トン未満 | | 6,000総トン以上 10,000総トン未満 | |
|------------|-------|-----------|-------------|---------|----------------------------|---------|---------------------------|---------|
| | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 |
| 外航商船 | 83 | 1,600,869 | 13 | 902,523 | 8 | 172,007 | 54 | 505,941 |
| 内航商船 | 1,008 | 866,189 | | | 1 | 19,819 | 1 | 7,057 |
| 自航 その他 | 1,865 | 83,312 | | | | | | |
| 合計 | 2,956 | 2,550,370 | 13 | 902,523 | 9 | 191,826 | 55 | 512,998 |

| トン数別 種別 | 3,000総トン以上 6,000総トン未満 | | 1,000総トン以上 3,000総トン未満 | | 500総トン以上 1,000総トン未満 | | 5総トン以上 500総トン未満 | |
|------------|--------------------------|---------|--------------------------|--------|------------------------|---------|--------------------|---------|
| | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 | 隻数 | 総トン数 |
| 外航商船 | 1 | 5,647 | 7 | 14,751 | | | | |
| 内航商船 | 62 | 233,723 | 9 | 21,350 | 465 | 350,230 | 470 | 234,010 |
| 自航 その他 | | | | | 34 | 20,030 | 1,831 | 63,282 |
| 合計 | 63 | 239,370 | 16 | 36,101 | 499 | 370,260 | 2,301 | 297,292 |

最大入港船舶のトン数 93,656 総トン(喫水 m)

海上出入貨物

| 項目 | 合計 | | 農水産品 | | 林産品 | | 鉱産品 | | 金属機械工業品 | |
|----|-----------|-------|---------|------|-------|-----|---------|------|---------|------|
| | トン | % | トン | % | トン | % | トン | % | トン | % |
| 輸出 | 85,108 | 100.0 | 2,899 | 3.4 | 850 | 1.0 | | | 73,693 | 86.6 |
| 輸入 | 378,116 | 100.0 | 79,037 | 20.9 | 151 | 0.0 | 292,111 | 77.3 | 2,676 | 0.7 |
| 計 | 463,224 | 100.0 | 81,936 | 17.7 | 1,001 | 0.2 | 292,111 | 63.1 | 76,369 | 16.5 |
| 移出 | 268,799 | 100.0 | 6,273 | 2.3 | | | | | 250,744 | 93.3 |
| 移入 | 1,422,980 | 100.0 | 30,311 | 2.1 | 473 | 0.0 | 501,282 | 35.2 | 507,843 | 35.7 |
| 計 | 1,691,779 | 100.0 | 36,584 | 2.2 | 473 | 0.0 | 501,282 | 29.6 | 758,587 | 44.8 |
| 合計 | 2,155,003 | 100.0 | 118,520 | 5.5 | 1,474 | 0.1 | 793,393 | 36.8 | 834,956 | 38.7 |

| 項目 | 化学工業品 | | 軽工業品 | | 雑工業品 | | 特殊品 | | 分類不能のもの | |
|----|---------|------|--------|-----|-------|-----|--------|-----|---------|-----|
| | トン | % | トン | % | トン | % | トン | % | トン | % |
| 輸出 | | | 7,020 | 8.2 | 116 | 0.1 | 530 | 0.6 | | |
| 輸入 | 1,449 | 0.4 | | | 2,342 | 0.6 | 350 | 0.1 | | |
| 計 | 1,449 | 0.3 | 7,020 | 1.5 | 2,458 | 0.5 | 880 | 0.2 | | |
| 移出 | | | 5,133 | 1.9 | | | 6,649 | 2.5 | | |
| 移入 | 332,253 | 23.3 | 93 | 0.0 | 545 | 0.0 | 49,784 | 3.5 | 396 | 0.0 |
| 計 | 332,253 | 19.6 | 5,226 | 0.3 | 545 | 0.0 | 56,433 | 3.3 | 396 | 0.0 |
| 合計 | 333,702 | 15.5 | 12,246 | 0.6 | 3,003 | 0.1 | 57,313 | 2.7 | 396 | 0.0 |

太字は自動車航走船取扱貨物(外数)で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

| 項目 | フレートトン | TEU | |
|----|--------|-------|-----|
| | | 実入り | 空コン |
| 輸出 | 25,246 | 1,911 | 47 |
| 輸入 | 8,549 | 1,093 | 807 |

乗降人員

| | 合計 | 乗込人員 | 上陸人員 |
|------|----|------|------|
| 外国航路 | | | |
| 内国航路 | | | |
| 計 | | | |